

署名のお願い

国の名勝・史跡に指定された小石川植物園（御薬園跡及び養生所跡）の土地1200平方メートルが道路に？

300年の歴史遺産が大幅に削られる危機！

現在、東京大学が所有する小石川植物園周辺道路の整備計画の工事を、文京区と東京大学が進めています。その計画の中身を知って、私たちはビックリしました。最大2.9メートルの幅で、約1200平方メートルの植物園敷地を東大から提供させて、車道・歩道の拡幅に使う、というものだったからです。

最初は「20センチほど」

この計画の動きに不安を感じた区民が平成20年8月に区の都市計画課に状況を尋ねに行きました。その際の担当者の回答は、「道路幅を揃える形で植物園の面積を減らさないようにするが、場所によっては20センチぐらい植物園を削る」というものでした。しかし、いつのまにか、御殿坂（下に示す古地図右側の道路）は最大2.9メートル、正門側の道路（同地図下方）は最大2メートル拡充する計画に変更され、塀の建て替えを条件で、約1200平方メートルもの植物園の土地を区道として永久無償貸与させる協定を東大総長濱田純一氏と文京区長成澤廣修氏は平成21年12月22日に水面下で締結していました。文京区は平成23年度に御殿坂の通りの工事に着手し、植物園がざっくりと削られてしまいました。

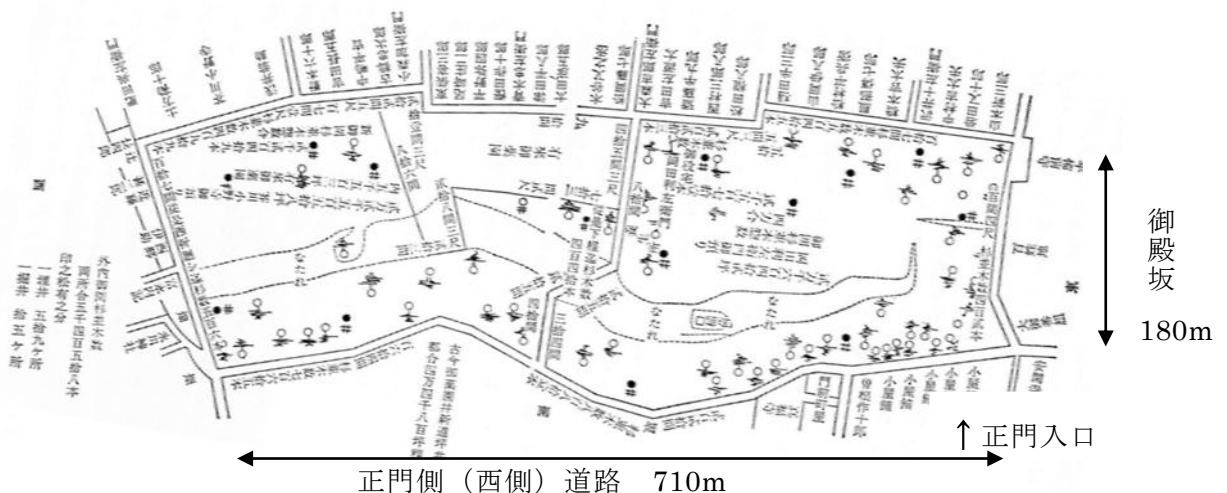
みんなで声をあげよう

小石川植物園は、江戸時代中期以来、形状を保ったまま今に至っています。区民にとっても国民にとっても、大切な歴史的・文化的遺産でもあり、植物学（本草学）上、世界的にも貴重な施設でもあります。利用者の少ない道路の拡幅のために、貴重な遺産の広い面積が失われてしまうことに疑問を感じずにはいられません。周囲の建築の条件が変わるため、高い建物が建ち並び、植物園の植生に悪影響を与える事態も懸念されます。

文京区は、正門側道路に接する植物園の敷地を710メートルにわたって削る工事を始めようとしています。平成24年9月19日小石川植物園（御薬園跡・養生所跡）は「国の名勝及び史跡に指定」されました。それを受けて、東大は植物園の詳細な調査を行うために正門側工事は延期されておりますが、植物園を削って道路拡幅工事を行う計画は何も変わっていません。

既に工事が行われた御殿坂内側では従来の林床植物が滅ぼされ、荒地に生息する植物が繁茂し植生に悪影響がでています。正門側の塀際には長いあいだ塀に守られ、稀少植物や在来の植生がベルト状に広がっています。塀際を削りとして薄くしてしまうと、手つかずで残ってきた園内の武蔵野の原植生や生態系の聖域も被害を受ける危険性があります。みなさん、「おかしいぞ」と声をあげてください。まずは工事見直しの署名にご協力ください。たくさんの署名が事態を動かす力になります。

(↓小石川植物園の古地図 1722年)



「小石川植物園を守る会」ホームページ URL : <http://koisikawa-mamoru-kai.la.coccan.jp/>
問い合わせ先 ; 稲葉信子 090-5782-0345 メール : n.inaba2@f5.dion.ne.jp

要望書

年 月 日

文京区 区長 成澤 廣修 殿

東京大学総長 濱田 純一 殿

私たちは、以下のことを要望します。

- 1 文京区の小石川植物園周辺道路基本計画（案）による、小石川植物園脇の区道の拡充工事を、準備作業も含めてすぐに停止していただきたい。
- 2 小石川植物園の周辺道路（区道）の拡幅のために、小石川植物園の敷地を大幅に削る事業計画を見直して、植物園の敷地をできるだけ削らないものに変更してください。
- 3 この計画に関して、文京区、東京大学、小石川植物園、東京都、及び一般区民（近隣及び区内在住者等）の5者で協議する場を、急いで設けてください。
- 4 この計画の可否について、文京区のコミュニティゾーン整備協議会であらためて議論をしてください。

氏 名	住 所

第五次署名受付中で、逐次集まったら東大総長及び文京区長に提出します。
集まった署名用紙は、次の集約先にお送り下さいますようお願い申し上げます。

〒112-0001 文京区白山 4-10-15 稲葉信子

問い合わせ先；電話 090-5782-0345 メール n.inaba2@f5.dion.ne.jp

「小石川植物園を守る会」ホームページ URL : <http://kosisikawa-mamoru-kai.la.coocan.jp>

(実施団体連絡先等)